調353- (3) - 3

第353回地震調查委員会資料

〈目 次〉

٠	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果(2021年1月01日-1月31日) ・・・・・	$\cdot \cdot 2$
٠	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況(2021年1月)	13
٠	四国の深部低周波微動活動状況(2021年1月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
٠	四国中西部の短期的スロースリップ活動状況(2021年1月)	15
٠	日本周辺における浅部超低周波地震活動(2020年12月~2021年1月)	16
٠	紀伊半島南東沖の微動活動(2020年12月-2021年1月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17

令和3年2月9日







広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果

(2021年01月01日--01月31日)

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

期間中のイベント教	数:91
-----------	------

·千島列島					
75)	遠地	(01/25 23:14 Mw4.5 H_68km VR76.02/2) 北北西一南南東圧縮の逆断層			
76)	遠地	(01/25 23:24 Mw4.7 H_65km VR77.34/2) 北北西一南南東圧縮の逆断層			
78)	千島列島	(01/26 23:56 Mw4.3 H_5km VR76.80/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層			
・北洋	海道地方				
4)	北海道東方沖	(01/02 07:08 Mw4.0 H_38km VR79.94/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型			
14)	択捉島付近	(01/05 21:56 Mw4.0 H_77km VR60.02/3) 南北方向に伸長軸を持つ型			
22)	北海道西方沖	(01/09 06:51 Mw4.5 H300km VR86.61/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型			
<u>2</u> 9)	北海道西方沖	(01/12 11:39 Mw6.0 H240km VR91.34/3) 北北東一南南西伸張の正断層			
30)	北海道西方沖	(01/12 17:42 Mw4.0 H230km VR60.19/3) 北北東一南南西伸張の正断層			
41)	十勝支庁南部	(01/15 17:40 Mw4.7 H_59km VR85.64/3) 北西一南東方向に圧縮軸を持つ型			
45)	釧路沖	(01/16 05:10 Mw4.2 H_35km VR71.53/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層			
51)	択捉島付近	(01/18 11:05 Mw4.5 H_95km VR73.85/3) 北西一南東圧縮の逆断層			
63)	日高支庁中部	(01/23 14:39 Mw4.6 H119km VR83.03/3) 北北西一南南東方向に圧縮軸を持つ型			
70)	釧路沖	(01/25 03:24 Mw4.9 H_20km VR71.72/3) 東西方向に圧縮軸を持つ型			
80)	胆振支庁中東部	(01/27 14:06 Mw5.3 H116km VR87.52/3) 北北西一南南東方向に伸長軸を持つ型			
83)	根室半島南東沖	(01/27 23:27 Mw4.1 H_14km VR62.67/3) 北北西一南南東圧縮の逆断層			
87)	北海道東方沖	(01/29 03:51 Mw4.2 H_50km VR89.48/3) 北北西一南南東圧縮の逆断層			
・東‡	比地方				
8)	宮城県沖	(01/02 22:36 Mw4.2 H_41km VR84.98/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層			
16)	三陸沖	(01/07 04:13 Mw4.6 H_17km VR84.95/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層			
21)	福島県沖	(01/09 04:49 Mw4.1 H_32km VR80.84/3) 北東一南西方向に伸長軸を持つ型			
23)	福島県沖	(01/09 14:36 Mw4.7 H_35km VR94.32/3) 北北東一南南西圧縮の逆断層			
26)	福島県沖	(01/10 15:38 Mw4.4 H_47km VR89.03/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層			
62)	福島県沖	(01/23 01:03 Mw4.2 H_17km VR89.00/3) 東西方向に伸長軸を持つ型			
66)	福島県沖	(01/23 22:12 Mw4.5 H_41km VR88.57/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層			
86)	福島県沖	(01/29 03:24 Mw4.0 H_59km VR89.35/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層			
88)	岩手県沿岸北部	(01/29 04:24 Mw4.2 H_74km VR93.85/3) 西北西一東南東圧縮の逆断層			
·関東·中部地方					
1)	新島·神津島近海	(01/01 01:53 Mw4.5 H_5km VR91.02/3) 北西一南東方向に圧縮軸を持つ型			
5)	八丈島東方沖	(01/02 09:44 Mw4.3 H_5km VR79.02/3) 東西圧縮の逆断層			
15)	八丈島東方沖	(01/06 12:23 Mw4.2 H_5km VR77.59/3) 北東一南西方向に圧縮軸を持つ型			
49)	関東東方沖	(01/17 10:11 Mw4.1 H_14km VR89.46/3) 北西一南東圧縮の逆断層			
60)	千葉県北西部	(01/22 07:04 Mw4.2 H_65km VR86.86/3) 東西圧縮の逆断層			
77)	茨城県北部	(01/26 08:25 Mw4.2 H_59km VR91.89/3) 南北方向に圧縮軸を持つ型			
•小笠原地方					
3)	鳥島東方沖	(01/01 08:17 Mw4.3 H_5km VR59.68/2) 東北東一西南西圧縮の逆断層			

55)	鳥島東方沖	(01/19 05:14 Mw4.0 H_5km VR57.42/3) 東北東一西南西圧縮の逆断層
58)	鳥島東方沖	(01/20 08:11 Mw4.3 H_5km VR55.55/3) 東北東一西南西圧縮の逆断層
65)	鳥島近海	(01/23 20:55 Mw4.3 H400km VR56.26/3) 北北東一南南西伸張の正断層
・東淮	再道沖	
35)	東海道沖	(01/14 20:17 Mw4.2 H340km VR89.00/3) 北北西一南南東圧縮の逆断層
<u>42</u>)	東海道沖	(01/15 22:38 Mw5.2 H380km VR91.72/3) 東西圧縮の逆断層
・九州	附地方	
54)	黄海	(01/19 03:21 Mw4.8 H_5km VR81.29/3) 北北東一南南西方向に圧縮軸を持つ型
68)	種子島近海	(01/24 05:52 Mw4.1 H_26km VR74.93/3) 北西一南東圧縮の逆断層
90)	奄美大島近海	(01/30 10:25 Mw4.6 H_8km VR89.35/3) 北北西一南南東方向に伸長軸を持つ型
・沖紛	甩地方	
7)	台湾付近	(01/02 22:26 Mw4.6 H_20km VR89.93/2) 北東一南西方向に圧縮軸を持つ型
9)	台湾付近	(01/03 11:50 Mw4.0 H_20km VR85.70/2) 南北圧縮の逆断層
10)	沖縄本島近海	(01/03 14:24 Mw5.0 H_17km VR61.22/3) 北西一南東圧縮の逆断層
11)	沖縄本島近海	(01/03 15:11 Mw4.4 H_17km VR65.89/3) 北西一南東圧縮の逆断層
12)	沖縄本島近海	(01/03 15:42 Mw4.8 H_17km VR66.69/3) 北西一南東圧縮の逆断層
18)	台湾付近	(01/08 18:04 Mw4.3 H_5km VR69.88/2) 北北西一南南東伸張の正断層
24)	台湾付近	(01/09 20:35 Mw4.8 H_77km VR88.29/3) 西北西一東南東方向に圧縮軸を持つ型
25)	台湾付近	(01/10 12:23 Mw4.3 H_29km VR65.79/3) 北西一南東方向に圧縮軸を持つ型
28)	東シナ海	(01/11 09:24 Mw4.9 H145km VR93.17/3) 東西伸張の正断層
36)	石垣島近海	(01/15 01:28 Mw4.7 H125km VR89.53/2) 北北西一南南東圧縮の横ずれ断層
44)	宮古島近海	(01/16 00:40 Mw4.1 H_59km VR64.04/3) 北北西一南南東圧縮の逆断層
<u>48)</u>	台湾付近	<u>(01/17 08:10 Mw5.0 H_41km VR71.21/2) 東西圧縮の逆断層</u>
59)	与那国島近海	(01/21 06:02 Mw4.0 H_8km VR70.28/2) 北北東一南南西方向に伸長軸を持つ型
71)	石垣島南方沖	(01/25 16:25 Mw5.2 H_38km VR85.17/3) 東西圧縮の横ずれ断層
72)	石垣島近海	(01/25 18:05 Mw4.9 H_32km VR62.61/3) 東西圧縮の横ずれ断層
73)	台湾付近	(01/25 20:39 Mw4.2 H_98km VR76.23/3) 南北方向に圧縮軸を持つ型
85)	台湾付近	(01/28 16:29 Mw4.6 H_20km VR73.42/2) 西北西一東南東圧縮の逆断層

*Mw4.0 以上をリストアップ. **下線部は Mw5.0 以上を示す.

"VR"欄の"/"の後の数は解析に使用した観測点数を示す. *断層タイプの分類は Frohlich [1992]による. 謝辞 地形データは海上保安庁のものを使用させて頂きました. 記して感謝いたします



Hokkaido Jan 01,2021–Jan 30,2021(JST)



Tohoku Jan 01,2021–Jan 15,2021(JST)



Tohoku Jan 16,2021–Jan 30,2021(JST)



Kanto-Chubu

Jan 01,2021-Jan 15,2021(JST)



Kanto-Chubu

Jan 16,2021-Jan 30,2021(JST)



Kinki-Chugoku-Shikoku

Jan 01,2021-Jan 30,2021(JST)



42. 01/15 22:38 Mw5.2 H380km VR91.7 61. 01/22 14:46 Mw3.7 H_5km VR86.1 67. 01/24 00:57 Mw3.9 H_11km VR92.7

Kyushu Jan 01,2021–Jan 30,2021(JST)



61. 01/22 14:46 Mw3.7 H__5km VR86.1 67. 01/24 00:57 Mw3.9 H_11km VR92.7 68. 01/24 05:52 Mw4.1 H_26km VR74.9 90. 01/30 10:25 Mw4.6 H_8km VR89.3

Okinawa Jan 01,2021–Jan 30,2021(JST)





図1. 紀伊半島・東海地域における2003年1月~2021年2月3日までの深部低周波微動の時空間分布(上図). 赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である.青菱形は周期20秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である.黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す.下図は2021年1月を中心とした期間の拡大図である.この期間に顕著な活動はとくにみられなかったものの,1月12日頃および1月30~31日頃には和歌山県中部において,ごく小規模な活動がみられた.1月12日6時32分頃にモンゴルで発生した Mw6.7の地震後の7時台前半に,東海地方において微動活動がみられた (図2).



図2. 各期間に発生した微動(赤丸)の分布. 灰丸は、図1の拡大図で 示した期間における微動分布を示す.



図1. 四国における 2003 年 1月~2021 年 2月 3 日まで の深部低周波微動の時空間 分布(上図). 赤丸はエンベ ロープ相関・振幅ハイブリッ ド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって 1 時間 毎に自動処理された微動分 布の重心である. 青菱形は



周期 20 秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である. 黄緑色太線は, これまでに検出された短期的スロース リップイベント (SSE) を示す. 下図は 2021 年 1 月を中心とした期間の拡大図である. 1 月 12 ~ 25 日頃には愛媛 県西部から東部で, 活発な微動活動がみられた. この活動は愛媛県西部で開始し, 東西両方向への活動域の移動 が 20 日頃までみられた. 21 日頃からは, 活動域は全体的に東方向へと移動し, 25 日頃まで継続した. この活動 に際し, 傾斜変動から短期的 SSE の断層モデルも推定されている. 1 月 27 日頃からは, 愛媛・香川・徳島県境付 近から微動活動が開始し, 東方向への活動域の拡大がみられている. その他の活動としては, 2020 年 12 月 29 日 ~ 2021 年 1 月 1 日頃に香川・徳島県境付近において小規模な活動がみられた. 1 月 17 ~ 18 日頃には愛媛・香川・ 徳島県境付近において, 1 月 24 日頃には徳島県中部において, それぞれごく小規模な活動がみられた.



四国中西部の短期的スロースリップ活動状況(2021年1月)



図1:2020年12月16日~2021年2月1日の傾斜時系列.上方向への変化が北・ 東下がりの傾斜変動を表し, BAYTAP-G により潮汐・気圧応答成分を除去した. 期間①②の傾斜変化ベクトルを図2に示す.四国中西部での微動活動度・気象庁宇 和島観測点の気圧・雨量をあわせて示す.

謝辞

気象庁の WEB ページで公開されている気象データを使用させて頂きました. 記して感謝いたします.

日本周辺における浅部超低周波地震活動(2020年12月~2021年1月) 👬 💆 💆 🕅 🎬



🚺 防災科研

紀伊半島南東沖の微動活動(2020年12月-2021年1月)

- ・2020 年 12 月 6 日より紀伊半島南東沖で顕著な微動活動.
- ・二度の高速逆伝播(Rapid Tremor Reversal: RTR)を伴いながら活動域を南西に拡大.
- ・1月21日頃に大規模な活動は一度停止,1月26-29日に再び小規模な活動.



図1:微動の時空間分布.(a)震央分布.色は期間に対応(b参照).2020年11月以前(2018年1月から)の微動を 灰色の点で示す.□◇はそれぞれ DONET1, DONET2 観測点.点線は海溝軸.微動の検出・震源決定にはエンベロー プ相関法コード(Ide, 2010; Ohta et al., 2019)を用い,DONET1および DONET2の水平2成分速度波形(2-6Hz) を使用.検出されたイベントの内,継続時間20秒以上,震央誤差10km以内,群発条件(1日&20km以内に4イ ベント以上)を満たすものを微動として採用.DONET1からDONET2 東端の領域にかけて活発な微動活動.(b)検出 数の日別ヒストグラムと累積.2020/12/6-2021/1/21に大規模な活動があり,2021/1/26-2021/1/29に小規模な 活動.(c)震央の時空間分布.傾斜方向(Y軸)に投影.(d)走向方向(X軸)に投影.RTRを伴いながら南西へ拡大. (e)2018年1月-2021年1月の全微動の時空間分布(X方向投影).2018年に紀伊水道沖で大規模な活動.



微動の活動度と規模



図2:微動の継続時間.微動の活動度および規模の指標として,微動の継続時間の分布を示す.個々の微動の継 続時間は微動の全観測点平均エンベロープの半値幅から見積もっている.(a)微動の累積継続時間.0.02°×0.02° グリッド内の微動の累積.微動の活動度に対応する.DONET1下の海溝軸近傍で最も活動が活発.(b)微動の個々 の継続時間.0.02°×0.02°グリッド内の微動の平均.60秒付近が主.



微動の震央誤差

図3:微動の震央誤差.(ab)緯度方向の誤差のヒストグラムと空間分布.エンベロープ相関法で検出されたイベントの内,微動として判定されなかったものを灰色で示している.DONET1下では緯度方向に精度がよく,海溝軸との位置関係は押さえられている.(cd)経度方向の誤差.DONET1の東側は観測網の端にあたるため誤差が大きく,あまり押さえが効いていない.一方でDONET1下及びDONET1-2間の領域では比較的精度よく求まっている.



微動分布とスロースリップ(SSE)領域の比較

🚺 防災科研

図4:微動とSSE領域. 浅部 SSE 分布 (Yokota and Ishikawa, 2020) との比較. 黒点が今回検出された微動分布. 薄青の楕円形領域が紀伊半島南東沖の短期的 SSE,赤の矩形領域が紀伊水道沖の長期的 SSE を示している. 微動 の分布は短期的 SSE 領域と対応がよく,長期的 SSE 領域の東端付近で活動が止まっているように見える.